

# 百鬼夜行の定量分析

— MCI を通じた日本の妖怪の研究 —

○ 本田菜々子<sup>1</sup>・中分遥<sup>2</sup>・須山巨基<sup>1,3</sup>

(1:安田女子大学心理学部、2:高知工科大学、3:明治学院大学)

## 目的

直感的な理解に反する超自然概念やキャラクターは、世界中の民間伝承、神話、宗教文書に遍在している (Berezkin, 2021; Thompson, 1955; Uther, 2004)。例えば、空を飛ぶ力を与える魔法の物体(直観的な物理学的性質への違反)、既に死んでいるのに生きているように振る舞うことができる幽霊(直観的な生物学的な性質への違反)、異常な認知能力を持つ全知の神(直観的な心理学性質への違反)などである。Boyer (2003)は、こうした直観に反する超自然的な存在や概念や能力・形態・生息地が多様であるにもかかわらず、ある一つの共通する性質があることを主張している。それは、我々の直観に最小限に違反するという性質であり、この主張は MCI 理論(最小反直観理論; Minimally-counter intuitive theory)として知られている。ここで、直観とは、我々が発達の初期段階から持っている物質・生物・心理的な性質への違反として定義される (Barrett, 2008)。では、実際に語られる存在は果たして MCI、すなわち直観に最小限に違反するのか? この問いを検証するために、実際のテキスト資料(民話、宗教文書など)の定量的分析が行われている (Norenzayan et al. 2006; Upal, 2011)。その中で、Barrett (2008) は MCI をコード化する手法(手続き)を体系化させた。この手法は、宗教的なテキストのみならず、様々な文化集団の民話にも適用された (Barrett, Porter & Burdett, 2009)。その結果、評定された事物の多くは 1 つか 2 つの反直観的な要素を含むことが示された。同様に本手法は日本の宗教的なテキスト(e.g., 古事記・天始之事)にも適用されており、同様に多くの登場人物が MCI であることが示されている。本研究では、この結果の頑健性を検討するため、本邦の「反直観的」な存在として代表的な「妖怪」に着目し、各妖怪がどの程度直観に違反する性質を持つのか検討する。なお、本稿での妖怪の定義は、「妖怪図鑑」に掲載されている存在を妖怪として定義する。

## 方法

資料:コード化する資料は「妖怪図巻」(京極, 2000)であり、画像ではなく妖怪の説明文章のみを用いた。妖怪図巻は「化物づくし」「百鬼図巻」「化物絵巻」「百鬼夜行絵巻」を編纂したもので、重複したものを除き、計 59 体

の妖怪が収録されている。ここから出典ごとの累計を出して 84 体とし、文字数が欠けるものやコード化手続きが適用できない 30 体を除いた 54 体を最終的なコード化対象とした。

手続き: Barrett (2008)の手法を用いてコード化した。また、コード化は表 1 に従って行った。表 1 は「固体・物質」「動物」といったものに直観的に想定される性質について示しており、例えば、言葉を話す傘は「固体・物質」に想定されない性質である「精神性」を持つので反直観的であり、また物質を通過できる人は「物理性」に違反するため反直観的である。このように反直観的な性質の個数を数えた。

## 結果

記述が少ないなどの理由で、いくつかの妖怪を除外し、最終的に 54 体の妖怪を Barrett (2008) のコーディングに従って評定した。54 体の妖怪のうち、13 体(24.07%)が直感的で、残りは直感的でない(75.93%)とされた。直感的な妖怪のうち、大多数は反直感スコアが 1 ないし 2 であった(92.68%)。

## 考察

Barrett (2008) の手法に従い、日本の妖怪を評定し、日本の妖怪も他の地域で見られるような最小限に反直観的な性質を持っているのか検討した。その結果、先行研究と同様に日本の妖怪も 1 ないし 2 つの反直観的な性質で構成されていることがわかった。

表 1 各ドメインに対して期待する性質 (Barrett, 2008 をもとに作成)

期待される組み合わせ	Spatial Entities (空間的実体)	Solid Objects (固体・物体)	Living Things (植物)	Animates (動物)	Persons (人間)
Universality (普遍性)	想定される	想定される	想定される	想定される	想定される
Spatiality (空間性)	想定される	想定される	想定される	想定される	想定される
Physicality (物理性)	N/A	想定される	想定される	想定される	想定される
Biology (生物性)	N/A	N/A	想定される	想定される	想定される
Animacy (目的志向性)	N/A	N/A	N/A	想定される	想定される
Mentality (精神性)	N/A	N/A	N/A	N/A	想定される